

令和6年度

動物分野における薬剤耐性対策 ミニセミナーを開催いたします

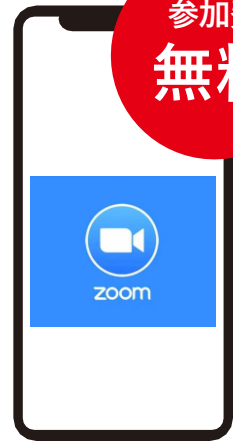
抗菌薬が効かない薬剤耐性菌の増加が国際的な課題となっています。薬剤耐性への対策は、人の健康だけでなく、家畜やペットの健康維持に必要な不可欠なものであり、その取組には獣医師や生産者、ペットオーナー等、関係者の理解を高めることが重要だと考えられます。

そこで今回、薬剤耐性に関する様々な分野の最新情報を紹介し、薬剤耐性対策の一層効果的な推進に資することを目的に、下記のとおり、テーマを分けて全7回のセミナーを開催します。

- 開催日時：Day1 11月15日（金）
Day2 11月19日（火）
Day3 11月20日（水）
Day4 11月21日（木） ※各回19:00～20:00
Day5 11月25日（月）
Day6 12月6日（金）
Day7 12月9日（月）

■開催形式：Zoomウェビナーによるリアルタイム配信！

■お申込み：<https://forms.gle/gPHc5gNPFWuqzN8o9>



60分程度のミニセミナーですので、お気軽にご参加ください。

※申し込まれた方を対象に、期間限定でセミナーのアーカイブ配信を予定しております。

※演題は変わる場合がございます。

Day1

令和6年11月15日（金）19:00～20:00

豚×呼吸器病

「農場の飼養衛生管理によるPRDC制御の事例」

呉 克昌（一般社団法人 日本養豚開業獣医師協会 代表代行政事）

「抗菌剤使用適正化に貢献した呼吸器病対策の事例」

遠矢 良平（宮崎県農業共済組合 生産獣医療センター 養豚生産獣医療課）

「豚呼吸器複合感染症（PRDC）とワクチン - 抗菌剤に依存しないPRDC対策 - 」

平 修（一般財団法人 日本生物科学研究所 検査部 次長）



Day2

令和6年11月19日（火）19:00～20:00

水産分野

「水産分野における薬剤耐性（AMR）の情勢について」

高橋 延之（農林水産省 消費・安全局 畜水産安全管理課 水産安全班）

「水産分野における抗菌剤の使用を必要最小限とする魚病対策とその普及啓発活動」

福田 穰（大分県水産養殖協議会 事務局長）

「海面養殖における衛生管理について」

原川 翔伍（愛媛県 農林水産研究所 水産研究センター魚類検査室 主任）



Day3



令和6年11月20日（水）19：00～20：00
愛玩動物×皮膚病

「伴侶動物分野における抗菌剤使用量と薬剤耐性の動向」

松田 真理（動物医薬品検査所 動物分野AMRセンター）

「犬の細菌性皮膚疾患における薬剤耐性の動向と対策」

伊従 慶太（株式会社1sec. 最高技術責任者）

「動物病院における院内感染対策」

笹岡 一慶（北海道大学 大学院獣医学研究院附属動物病院 助教）

Day4



令和6年11月21日（木）19：00～20：00
乳用牛×乳房炎

「牛乳房炎の診断と治療の考え方 ～薬剤耐性を考慮した効果的な治療法を模索して～」

河合 一洋（麻布大学獣医学部獣医学科 獣医衛生学研究室 教授）

「乾乳期の選択的治療」

菊 佳男（酪農学園大学 農食環境学群 循環農学類 教授）

Day5



令和6年11月25日（月）19：00～20：00
肉用鶏×大腸菌症

「ブロイラーにおける大腸菌の薬剤耐性モニタリング」

細井 悠太（動物医薬品検査所 動物分野AMRセンター）

「鶏大腸菌症の病態と最近のトレンド」

永井 寿宗（株式会社ESAC 代表取締役）

「大腸菌症の発生状況と対策、抗菌剤の慎重使用」

橋本 信一郎（株式会社ウェルファームフーズ 防疫対策部会長 兼 宮城産業動物診療所長）

Day6



令和6年12月6日（金）19：00～20：00
肉用牛×呼吸器病（前編）

「呼吸器病の発生状況について」

古庄 宏忠（農林水産省 経営局保険監理官 家畜班）

「薬剤感受性に基づいたBRDCにおける抗菌剤治療」

加藤 敏英（株式会社微生物化学研究所 学術課）

「感染の背景にあるストレスや日和見感染に関する飼養方法に関するアプローチ」

出口 祐一郎（宮崎県農業共済組合 生産獣医療センター 生産獣医療課）

Day7



令和6年12月9日（月）19：00～20：00
肉用牛×呼吸器病（後編）

「BRDCワクチンと薬剤耐性対策」

荻窪 恭明（動物医薬品検査所 検査第一部長）

「BRDC対策におけるワクチンの活用」

岡 章生（株式会社微生物化学研究所 動物医薬学術室 学術課
シニアテクニカルアドバイザー 獣医師 獣医学博士）